

R7年3月放送分
「防衛省職員の採用について」
(日本の防衛Q & A)
(自衛隊百科)

R7.2.21 収録

【パーソナリティー】

本日は、東北防衛局の職員採用を担当しています加藤^{かとうりょうた} 椋太さんから「防衛省職員の採用」について、お話を伺います。よろしくお願ひします。

【加藤】

はい。東北防衛局人事係の加藤と申します。出身は宮城県山元町で、平成31年に陸上自衛隊で採用され、昨年4月から東北防衛局で勤務しています。本日はよろしくお願ひします。

【パーソナリティー】

こちらこそ、よろしくお願ひします。それでは、「防衛省職員の採用」について、お話をお願ひします。

【加藤】

はい。まず防衛省・自衛隊と聞くと、大規模災害が発生した際に、災害現場で活動している迷彩服を着た「自衛官」をイメージする方が多いと思います。

一方で、防衛省には「自衛官」のほかに、行政・事務職を行う「防衛事務官」や、技術職の「防衛技官」が全国で勤務しております。

本日は、防衛省の「事務官」や「技官」の役割や業務内容、採用試験についてお話したいと思います。

【パーソナリティー】

はい、防衛省では自衛官のほかに、「事務官」や「技官」の方々が全国で勤務されている事はこれまでも何度かお聞きしましたが、改めてどの様な仕事をされているのかお願ひします。

【加藤】

はい、防衛省では、事務官・技官など2万人を超える職員が、全国各地で多種多様な業務を担っています。

私は防衛事務官ですが、「事務官」は、防衛政策の企画立案、法律や予算の策定のほか、総務、会計、人事といった行政事務を行っています。ちなみに、池松東北防衛局長も防衛事務官です。

一方、「技官」は、建築・土木・設備などの専門分野ごとに自衛隊施設の建設工事の設計・監督などの業務を行っている他、補助事業や契約に関する業務に携わっている職員もいます。

【パーソナリティー】

では、防衛省の事務官や技官になるためにはどのような試験を受験したらよいのでしょうか？

【加藤】

はい、まず人事院が実施している国家公務員採用試験を受験し、最終合格後に防衛省の採用面接を受け、そして採用内定の流れとなります。

【パーソナリティー】

間もなく新年度を迎えますが、試験日程は決まっていますか？

【加藤】

はい、人事院が実施する大卒程度試験の1次試験は6月1日となっており、申込み受付は、3月24日までとなっています。申込みはホームページから簡単にできますので、詳しくは人事院のホームページの「国家公務員試験採用情報NAV I」をご確認ください。

なお、高卒程度試験の申込み受付は、6月13日から6月25日までとなっています。

【パーソナリティー】

防衛省には様々な勤務地があると思いますが、試験を受ける際に勤務先を自分で選ぶことはできるのですか？

【加藤】

はい、防衛省では採用予定機関が複数あり、採用面接は、陸・海・空の各自衛隊や各地方防衛局ごとに行われますので、自分が希望する地域に所在する機関の面接を受けることができます。

なお、事務官・技官は、自衛官のように日々の訓練はありませんので、体力に自信がなくても全く問題ありません。

【パーソナリティー】

国家公務員というと全国的な転勤があると思うのですが、どの位の頻度で異動や転勤があるのですか？

【加藤】

はい、基本的には、2年から3年のサイクルで人事異動がありますが、防衛省では「ブロック型人事管理」を行っており、防衛本省を含む中央と、東北地区を含む8つの各地方ブロックを単位としたブロック内での勤務・異動が基本となります。

これにより、職員やその家族の負担となっている転勤や単身赴任が削減されています。

例えば、東北ブロックで地方防衛局を希望した場合は、宮城県仙台市にある東北防衛局本局、もしくは青森県三沢市と福島県郡山市にある防衛事務所のいずれかで勤務することになります。

ただし、本人の希望や適正等によっては、防衛本省や他ブロックに異動をすることも可能となっております。

【パーソナリティー】

そうなんですね。

では、改めて、東北防衛局は防衛省の中でどのような役割を果たしているのでしょうか。

【加藤】

はい、東北防衛局は、東北6県に所在する駐屯地や基地などの整備や管理を行い、自衛隊や在日米軍の活動を支えているとともに、防衛施設の周辺地域の皆さんの生活や福祉の向上を図るため、多種多様で多岐にわたる業務を行っております。

このため、東北防衛局は地域の皆さんと自衛隊・在日米軍を繋ぐ架

け橋のような役割を担っています。

【パーソナリティー】

防衛省の職員として働くことの魅力とはどのようなものでしょうか。

【加藤】

はい、防衛省の使命は「我が国の平和と独立を守り、国の安全を保つこと。」です。これは、国の発展と繁栄を実現するための根幹であり、必要不可欠なものです。

我々防衛省の職員は、この「日本の未来を守る」という大きなフィールドで、国防の一翼を担う「当事者」として仕事ができるということが大きな魅力だと思います。

【パーソナリティー】

「日本の未来を守る」、そして「国防の一翼を担う」職場ということですね。

もっと詳しく防衛省や東北防衛局などの業務を知りたい場合は、どのようにしたらよろしいでしょうか。

【加藤】

はい、防衛省・東北防衛局では、様々な業務説明会やセミナーで若手職員との少人数での懇談会を行っています。勤務している職員から直接業務に関する話を聞くことができ、また、実際に職場を見学することができます。

業務セミナー等に参加いただくことで、防衛省の職員が実際にどのような仕事をしているのか、また、職場の雰囲気はどのような感じなのかなど、理解を深めたり、知ることができますので、興味がある方は防衛省や東北防衛局のホームページ、またはSNSで開催日時などを随時掲載していますので、是非ご覧ください。

【パーソナリティー】

わかりました。

それでは最後に国家公務員を目指している方々に対しメッセージをお願いします。

【加藤】

はい、国家公務員は、国、そして人々の生活を支える存在であり、各省庁がそれぞれ担当する業務を「国民全体の奉仕者」として連携しながら、必要な政策を前に進めています。

防衛省は、平和を担う組織であり、国民の命と平和な生活を守るため、様々な業務を行うとても大きな組織で、幅広い仕事があります。

皆さん、この「日本の未来を守る」という大きなフィールドに、チャレンジしませんか。

今後、東北防衛局では、様々な業務説明会や業務セミナーの開催を予定しておりますので、是非一度、足を運んでいただきたいと思っております。

【パーソナリティー】

本日は、「防衛省職員の採用」について、東北防衛局の採用担当、加藤さんにお話を伺いました。ありがとうございました。

【加藤】

ありがとうございました。

【パーソナリティー】

このコーナーでは、よりよい内容にしていくため、ラジオをお聞きの皆さまからご意見・ご感想を募集しております。お聞きのコミュニティ放送局までご連絡ください。